

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                  |         |           |
|---------|------------------|---------|-----------|
| 事業所番号   | 4091400251       |         |           |
| 法人名     | 社会福祉法人実寿穂会       |         |           |
| 事業所名    | グループホームポート賀茂     |         |           |
| 所在地     | 福岡市早良区賀茂4丁目41-30 |         |           |
| 自己評価作成日 | 令和1年11月12日       | 評価結果確定日 | 令和2年3月10日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaisokensaku.jp/40/index.php?action_kouhyou_pref_search_keyword_search=true">http://www.kaisokensaku.jp/40/index.php?action_kouhyou_pref_search_keyword_search=true</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |                  |   |
|-------|-------------------|------------------|---|
| 評価機関名 | 株式会社アール・ツーエス      |                  |   |
| 所在地   | 福岡県福岡市博多区元町1-6-16 | TEL:092-589-5680 | HP: <a href="http://www.r2s.co.jp">http://www.r2s.co.jp</a> |
| 訪問調査日 | 令和1年12月10日        |                  |   |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

入居者様がご自分の存在についてどのように感じ、どのように生きようとしているかを理解することに努めます。さらにご本人の持つ力を発揮していただけるように支援を行い、お一人お一人の「思い」や家族の「願い」を実現するケアを実践します。  
ご家族や地域の皆様にも支えていただきながら、あたたかで安心できる暮らしを創ることを目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ポート賀茂」は平成28年4月に開設された事業所で、のどかな田園の一角にあり、2ユニットからなるグループホームである。母体法人は長崎、福岡で複数の介護施設を経営しており、近隣に系列のグループホーム、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅がある。事業所理念の「今を生きる」に基づき、24時間シートにそって一人ひとりの夢実現を聞き取る。毎月一人づつ、夢の実現に家族と一緒に取り組み、新しい思い出作りを行っている。自治会主催の茶話会を事業所で行ない、自治会長さんが発信してくれ、近隣の方、障害の方などがたくさん参加してくれた。地域との関りを大事に築きながら、その人なりの思いを大切に職員全体で取り組んでいる。今後も大いに期待できる事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|--|---|---|---|
| 58<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25,26,27)       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 65<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,21)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 59<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20,40)             | <input type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 66<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,22)                     | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 60<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 61<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38,39)    | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 62<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)                  | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 69<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32,33)         | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 70<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 64<br>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:30) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

## 自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価(あまね)(たまより)  | 外部評価   |  |
|----|-----|---|--|--|--|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 1  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 施設理念である「今を生きる」を基本に、各ユニットのごとに目標を設けている。施設理念は事務所の目の触れやすい場所に掲示しユニット会議などで共有し実践している  | 事業所の理念である「今を生きる」を、事業所の目の触れやすい場所に掲示してあり、ユニット会議の時唱和し、職員全員で共有し実践している。各ユニットごとに目標を掲げ、ユニット会議の時に目標を共有する。地域との交流及びサークル活動(夢実現、居室用チェックリスト、ユニットの月間予定)などにより実践につなげている。   |  |
| 2  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 町内会に加入し地域の行事、公民館で行われる教室に定期的に参加し交流を行っている<br>公民館のサークル活動に、入居者が参加をしている。<br>自治会の主催の茶話会を施設で行い。地域の方に多く参加していただいている。                  | 町内会に加入し地域の行事、公民館で行われた「ミニ門松作り」を行ったり、マンドリンクラブを楽しんだり、月2回の移動図書館などの利用もできる。公民館で認知症の方への情報発信をしている。飛び込みで事業所を訪問され、入居につながったこともある。ボランティア活動でマジックの訪問があった。自治会主催の茶話会を事業所で行ない、地域の方が多く参加してくれた。                       | 公民館及び自治会との交流も盛んに行われ、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している様子が伺えます。事業所の中間のテラスに、地域との交流の場所を整えとの事、なお一層地域とのつながりができるように期待している。 |
| 3  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の方に来て頂くだけでなく、催し物を通じて、認知症の方と触れ合う機会を作っている。夢実現やサークル活動を入居者の方に参加していただき、地域の方に、温かい対応していただいている。自治会主催の茶話会を施設で行い。地域の方に多く参加していただいている。 |  |  |
| 4  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 2ヶ月に1回の会議を開き、入居者の状況やサービス提供などの事業報告を行っている<br>家族、地域の方の情報交換できるようにしている  | 二か月に1回開催され家族の参加もあり、公民館、自治会、包括支援センター、薬局などからの出席もある。公民館からの情報及び実践した内容、利用者の状況報告などを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。  | 今後の取り組みとして、来年は日曜日に行ない家族の参加を募ってみようと思うとの事。家族の参加が増える事を期待している。   |
| 5  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 運営推進会議への参加は無いため、運営推進会議議事録や広報誌を送付し現状把握してもらっている<br>包括支援センターの主催により、民生委員との研修会などに参加している   | 市町村にはメールで相談している。人員配置に関し相談した。運営推進会議記事録や法人からの「みずほ便り」などを送付し、取り組みなどを積極的に伝え、協力関係を築くようにしている。   |  |
| 6  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 居室の鍵を持ちたい入居者の方には、鍵を持って頂いている。居室内の吐き出し窓も、基本施錠は行っていない。  | 玄関のみ電子ロックにしている。家族と話し合いの下、夜間は人感センサーを設置している又昨年夏には離設した利用者があり、窓は施錠は行っていないが、全開しないようにしている。居室の鍵を持ちたいとの希望のある利用者の方には鍵を渡している。スピーチロックの研修なども行っており又アセスメントの研修時に3か月にわたりスピーチロックの話をしており、身体拘束をしないケアの実践に職員全員で取り組んでいる。 |  |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価(あまね)(たまより)  | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている  | 計画作成担当者、事故ならひにリスクマネジメント研修を行い。計画作成担当者による、OJTにより職員に伝えて言っている。職員は外部研修に参加し、ユニット会議で伝達講習を行い虐待が見過ごせれないよう防止に努めている |  |                   |
| 8  | (6) | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 成年後見制度を申請され、今後利用されている入居者が居られる。施設からの提案で後見制度を利用されている。  | 現在成年後見制度を申請中の方が1名いる。事業者の働きかけで家族が家裁の方へ申し込んでいる。日常生活自立支援事業の利用者はいない。利用者、家族には入居時に説明し必要な時にはパンフレットなどを用意する。  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている   | 契約時は重要事項説明し了承を得たうえで契約している また制度改正がある場合などは再度説明し同意書を得るようにする   |  |                   |
| 10 | (7) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | 顧客満足度アンケートを敬老会時に、参加がない家族には郵送にて行っている。日頃から家族の方には入居者の状況報告を密にしご意見や要望を伺うよう努めている                               | 家族へのアンケートは年1回行っている。アンケートでサークルに参加したいとの希望があり、系列の特別養護老人ホームのサークルに参加した。意見箱は置いてあるが今年は意見はなかった。敬老会には家族の集まりがある。面会はほぼ毎日朝、夕娘さんが訪問される利用者もいる。遠方の家族には月1回便りと写真を送付している。日頃から家族の方には利用者の状況報告を密にし、意見、要望を伺い、運営に反映させている。 |                   |
| 11 | (8) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | 同法人の全体会議に職員が出席し意見や提案を述べる機会を与えている   | 同法人の全体会議に職員が出席し、意見や提案をのべる機会が設けられている。「地域への活動に参加しよう」「環境を整える」などの意見交換が行われた。月1回ユニット介護があり、出席できる職員全員の出席のもと各ユニットで行なう。会議の前に個別のミニカンファレンスを行なっている。職員の意見や提案を述べる機会もあり、反映させてもらっている。                               |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている  | 職員が年間目標を設定し半年に1度面談を行い達成状況や勤務状況の確認を行い働きやすい職場環境に努めている  |  |                   |
| 13 | (9) | ○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 20代から50代の職員が働いており、男女の区別なく雇用 面接で、介護の関わり方、考え方、向上心等を考慮して採用している。個人目標を立ててもらい目標に向けて働けるよう、アドバイスや研修への参加を促進している   | 性別、年齢などの区別もなく働いている。休憩室もあり、休憩時間も1時間ある。研修案内もあり自分の受けたい研修も受けることができる。半年に1回、面談により、目標達成状況や目標に対するアドバイスなどを受ける。「看取り師の勉強をしたい」「ケアマネジャーの資格を取りたい」等目標に向かい生き生きと働けるように、自己研鑽に励んでいる                                   |                   |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価(あまね)(たまより)  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | (10) | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                           | 人権学習に参加、人権にかかわる虐待等の外部研修を受講、人権啓発活動のビデオを見て勉強している   | 人権学習、外部研修などを受講し、ビデオを見たり、職員全員で人権教育に取り組んでいる。グループホームのネットワークに参加し意見交換や交流の場となっている。ユニットリーダー、ユニットケアの研修にも参加している。事業所はユニットケアを実践しており利用者が自分の住まいと思えるような環境作り、一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、一日の流れをその人なりのペースで行なうようにしている。 |                   |
| 15 |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員教育スケジュールをもとに、職員の目標を設定し、個々の能力に応じ、互いに確認出来るようにチェック表を作成している。必要と思われる外部研修の受講や法人での研修を積極的に行い、向上を図っている              |   |                   |
| 16 |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 関連施設のポート野芥の計画作成担当者に相互訪問などを行い。お互いに質の向上について相談を行っている。グループホームのネットワークに参加し意見交換や交流の場となっている                          |   |                   |
| 17 |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 「本人の思い」を確認するために、24時間暮らしの情報シートを家族に記入していただいている。施設にはいっても、暮らしの継続が出来るように、入居前に訪問調査、情報収集を行いご本人の要望に対応できるように努めている     |   |                   |
| 18 |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居前に、可能な方はご本人にも見学に来ていただき事前に楽しみや要望を聞きよりよい「本人の思い」をサービスに繋がるよう取り組んでいる<br>契約前のオリエンテーションで、ご家族とのコミュニケーションをとり関係作りに努め |   |                   |
| 19 |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 本人の思いを根拠にし、家族と施設がチームになり、入居者の未来が幸せな事を考え、今必要と思われるサービスを提案している   |   |                   |
| 20 |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 入居者の暮らしの継続の中で、「今を生きる」という意識から、本人の役割を持ち、得意な事や楽しみを、教え合ったり励ましあったりしながら、生活を共にし信頼関係を築いている                           |   |                   |
| 21 |      | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 「本人の思い」を根拠にし、ご家族との気持ちに寄り添い意向を聞きながら、ご本人を中心としたチームとして良い関係が築けるように心がけている  |   |                   |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価(あまね)(たまより)  | 外部評価  |  |
|----|------|--|--|---|--|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                        |
| 22 | (11) | ○馴染みの人や場所との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                      | 入居者の思いを叶えられるように夢実現として、馴染み場所や、行ってみたいところへ訪問出来るようにしている<br>夢実現などの行事ごとに参加のお願いをしたり。遠方に外出するさい、家族から同行依頼をお受けしている。 | 夢実現として自宅に行ったり、玄界灘にある「馬渡島」に家族と一緒にいった。パチンコに行った利用者もいた。木の葉モールに行きショッピング、食事などを楽しんだ。特別養護老人ホームのサークル、公民館の催しに参加するなど、本人が大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。  |  |
| 23 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                    | 入居者同士が会話できるよう職員が介入<br>また、編み物や洗濯物たたみ等をできる方は、一緒に職員としながら支え合える環境作りをしている                                      |   |  |
| 24 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退居された方のご家族へ連絡をして様子を聞くなどをしている<br>看取りの方は49日などに訪問させて頂いている。  |   |  |
| 25 | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 入居前に、24時間暮らしの情報シートを使い、ご家族へアンケート調査を行っており、その情報をもとに今までの暮らしと変わりがないように努めている                                   | フェイスシートはケアマネジャーが取る。24時間暮らしの情報シートを使い家族に書き込んでもらう。その情報をもとに本人の発した言葉、表情より感じたことを情報として取り込み暮らしのシートを膨らませていく。利用者、家族が何を求めているか正しく知り、利用者一人ひとりが個々のペースで生活ができるように努めている。   |  |
| 26 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 暮らしの継続を知るために「24時間暮らしの情報シート」と「嗜好調査」で情報を集め、それを、自宅といたときと同じ時間の流れを、日々の暮らしの中に取り入れ生活を送れるようにしている                 |   |  |
| 27 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一人ひとりが個々のペースで生活できるように支援している また、入居者の表情や言動を注意し現状の把握に努めるようにしている   |   |  |
| 28 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ユニット会議や申し送り等で出た意見を検討しそれをもとに、24時間シートに反映、更新を行い現状にあったケアができるようにしている  | 3か月の暫定プランを作成し、日々の実践内容からプランを見直す。担当者は利用者2~3名を受け持っている。24時間シートに変化があった時には担当者がケアチェック表に手書きで書く。家族の意向なども聞き取り、モニタリングで変化を見逃さないようにする。実施記録とプランは連動されている。ユニット会議で全員で検討を行なう。担当者会議では利用者、家族、医師などと話し合いを行ない、現状に即した介護計画をケアマネジャーが作成している。 | 医師から意見などがあった時は、担当者会議議事録に書き込むようにしてみたらどうか。 |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価(あまね)(たまより)   |   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                     | 日々の様子を個別記録に記入 気づきがあれば申し送りノートに記入し職員同士で話し合い情報を共有している  |   |      |                   |
| 30 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 入居者の体調や状況に応じて食事の形態を変更している。好きな物を提供しており、その時に合った食べる楽しみの提供を行っている  |   |      |                   |
| 31 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 「夢実現」で、本人の思いを通じて、近所のお店でコーヒーやランチに出掛けたり、行事や公民館サークル活動に参加を行い楽しむ機会を支援している  |   |      |                   |
| 32 | (14) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | かかりつけ医の継続でご家族と受診をされる方 ご家族の希望により提携の訪問診療、訪問歯科を契約 日常の様子や体調を提携のクリニックへ報告し連携を図っている  | かかりつけ医を継続している方が1名いる。日常の様子や体調を提携の医師に報告し連携を取っている。提携の訪問診療は歯科、内科などがあり、薬局の訪問もある。他科受診は家族又は職員が対応している。他科受診の際は、身体状態は医師が手紙を書き相手の医師に伝えている。   |      |                   |
| 33 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 提携のクリニックの看護師や訪問看護師と電話やFAXで相談や助言をいただいている   |   |      |                   |
| 34 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時、情報提供を行い医療機関と情報を共有している。入院中の本人の不安を少しでも軽減できるように、スタッフ、管理者がお見舞い行くようにしている。状況を見ながら、ドクター・ソーシャルワーカーと退院を含め今後の方向性について、話し合っている |   |      |                   |
| 35 | (15) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる    | 今年は、2名の看取り介護を行った。契約時に重度化した場合や終末期のあり方について説明と提案をしている 今後の方針として、介護計画をご本人にとって最適な方法をご家族と一緒に考え、主治医と連携を密にとっていく                  | 契約時に重度化した場合や終末期のあり方について説明、提案をしている。看取りの時期が来た時は、医師との連携も密に取り、アドバイス、デイレクティブを行ない、看取りの診療、介護計画を立てる。家族から署名、捺印をもらう。緊急時のマニュアルを作成しており、すぐに対応できるよう周知徹底をしている。終末期にもっとどんなことができたろうか職員間で話し合う。 |      |                   |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価(あまね)(たまより)   |   | 外部評価              |  |
|----|------|--|---|---|-------------------|--|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 36 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている           | 緊急時のマニュアルを作成しており職員の目に付くところに張り出し、直ぐに対応できるように周知徹底をしている<br>職員に応急手当普及員講習修了者が居るので、定期的にAEDの使用の訓練を行っている                                      |   |                   |  |
| 37 | (16) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 災害対策マニュアルを作成し総合防災訓練を日中、夜間想定で年2回行う 消防職員立ち会いのもと通報装置の取扱いや水消火器訓練を実施 また定期的に防災委員会を開催している 災害時の備蓄品を備えている                                      | 災害対策マニュアルを作成し総合防災訓練を年2回行い、1回は消防署職員立ち会いの下訓練を実施している。災害時の備蓄品としてご飯、クラッカー、乾パン、水など3日分を用意している。自治会より地域の防災の時に必要な品物を置かせてほしいとの相談があった。事業所での防災訓練時には、協力の申し出もあった。  |                   |  |
| 38 | (17) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 毎月のユニット会議にて、ユニットチェックを行い。ご本人の気持ちを尊重し、さりげない声かけ、言葉かけをしプライドを傷つけないように心がけている プライバシーの確保に注意し、記録などの個人情報の取り扱いの徹底に努めている 家族に日常の状況報告の際は、別室にて行う     | 職員がユニット内、トイレなどのチェックを行ない、気が付いた時は汚れの写真などを取り、ユニット会議で、職員全員で共有している。全体研修で接遇マナーの研修を受け、誇りやプライバシーを損ねないように心がけ言葉かけを行っている。個人情報の取り扱いの徹底に努めており写真、ブログなどへの承諾も得ている。  |                   |  |
| 39 |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人の思いや希望に対して職員が聴き、日常の会話からできることや、やりたいことを自己決定できるように支援を行っている<br>出来るかもしれない探しをする中で、本人の生きる力を、発揮できるように支援している                                 |   |                   |  |
| 40 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 24時間シートをもとに、入居者の暮らしの継続を守るために、「食べて・寝て・出す」を生活のペースにし、朝の起床・朝食など入居者の状態に合わせて声かけ、しっかり覚醒してから食事を提供している 一人ひとりのペースに合わせたケアを行っている                  |   |                   |  |
| 41 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 着替える際は、声かけにてご本人に選んでいただく、整容に関しては髭剃りや化粧などを支援し、身だしなみに気をつけ、その人らしさが保てるようにしている  |   |                   |  |
| 42 | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事については、業者から納入している。<br>入居者と職員と一緒に盛りつけや食器洗い、テーブル拭きなど一人ひとり出来ることを手伝っていただいている 食べたい物があるときは、外出支援として、食事に出かけたり、ご家族が持参されたりと食の楽しみを提供出来るよう心がけている | 副食は業者から納入、事業所で炊飯し炊きたてを食べてもらう。朝食はパン、ヨーグルトなどを食することもある。盛り付けやテーブル拭きなど、できることは利用者にも手伝ってもらう。食事レクで材料を買い「お好み焼き」「ケーキ作り」「いも羊かん」など利用者と一緒に作る。敬老会の時は仕出し屋さんから取る。外出レクで木の葉モールなどに食事に行くこともあり、食事を楽しむことができるよう支援を行っている。 |                   |  |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価(あまね)(たまより)   |   | 外部評価              |  |
|----|------|---|---|---|-------------------|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 43 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 食事量や水分量を記録に残し、一日のトータルが解るようにしている 病状等により水分制限のある方は職員間で情報を共有し支援をしている<br>捕食を準備し、本人の好きな食べ物を準備し、習慣に応じた支援を行っている             |   |                   |  |
| 44 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 口腔ケア加算を算定している<br>訪問歯科医による口腔ケア講習を全職員受講し、入居者一人ひとり毎食後ご自身で歯磨きを行った後、職員が口腔内を確認し磨き残しがないようにしている。                            |   |                   |  |
| 45 | (19) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 24時間シートをもとに、入居者の暮らしの継続を守るために、「食べて・寝て・出す」を生活のベースにし、入居者を提示に誘導するのではなく、本人の排泄パターンに合わせて声かけを行い、失敗や失禁が少なくなるよう支援をしている        | 24時間シートで行動パターンの把握ができ、定時に誘導するのではなく、利用者の排泄パターンに合わせ声かけを行い、リハビリパンツとパッドから昼は布パンツとパッドに改善された。排泄委員会がありユニット会議の30分前に、内容を報告し、改善に向け職員全員で話し合う。排泄時の声かけにも十分心配りをし、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 |                   |  |
| 46 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 排泄委員から発信し、便秘改善のための運動、水分量の確保、便通を良くするセンナ茶など工夫している。入浴時やベッド上で腹部のマッサージを行うなどして便秘予防に取り組んでいる。                               |   |                   |  |
| 47 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 入浴の日程は決めてはいるが、入居者に伺い決定していただいている。夜間以外はお好きな時間に入っていただけるよう支援している。毎回、お湯を入れ替え、湯温や時間は入居者の希望に添えるように、24時間シートに記載しケアの統一を行っている。 | 週2回個浴で毎回湯を変えている。13:30~16:00まで対応し、その時の利用者の状況に合わせ、入浴順番はかえ、ゆっくりと入浴してもらう。季節によりゆず湯、しょうぶ湯などがある。ガスヒーターで脱衣所を暖めたり、出入り口についたてを立て、外から見えないように浴室のプライバシーを保っている。皮膚湿疹がある時は医師に診てもらう。          |                   |  |
| 48 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 24Hシートを活用し、自宅と同じような環境作り、生活習慣の持続が出来るよう心がけている 日中の活動状況に合わせ休息できる時間を支援している   |   |                   |  |
| 49 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 薬局と連携を取り、薬の一包化や錠剤が服用できない方は粉末にしている<br>薬の効能や副作用の注意点、薬の変更など職員間で共有し確認を行っている   |   |                   |  |
| 50 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 暮らしの継続が出来るように、本人の意向好み・出来ることを支援している。本人の思いから「夢実現」につなげている  |   |                   |  |

2019.12自己・外部評価表(GHポート賀茂)確定

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価(あまね)(たまより)   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | (21) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 日々の会話から入居者の思いをくみ取り、夢実現という形で月に一度は買い物へ出かけたり食事やドライブに出かけている。玄関のしつらえを行い、ベンチなどを設置している。      | 月1回「夢実現」と言う形で思いをくみ取り、利用者自身の「ここに行きたい」「これをやりたい」「あれが食べたい」などと、夢を叶えるプロジェクトを行っており、個別に対応している。趣味をする、ご馳走を食べる、家族と過ごす、故郷を見に行きたいなどできる範囲の支援をしている。事業所玄関には素敵な空間が作られベンチが置かれ、そこでも夢が実現できるような趣がある。 |                   |
| 52 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 入居者の希望があればお金を所持することが出来る。、買い物や外食の際、所持金より精算していただけるよう支援している                              |   |                   |
| 53 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 入居時の契約の際、ご家族との連絡の件を話し合い、入居者が家族とお話したいときは、電話をかけることが出来るように支援している                         |   |                   |
| 54 | (22) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食堂のテーブルの配置、リビングでくつろげる空間作りを行っている。季節の花を活けたり、オルゴールや昔の名曲の音楽を流す際は音量に配慮している                 | 共用の空間を食堂とリビングに分けている。南向きに位置し天井は高く吹きぬけになっている。明るい光がふり注ぎ、壁にモダンな絵画が飾られている。季節の花を生け、食堂には音楽が程よいボリュームで流れ、穏やかな空気が流れている。   |                   |
| 55 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共用空間を食堂、リビングと分けており、好きな空間で気の合った入居者同士話が出るよう椅子やソファを配置している                                |   |                   |
| 56 | (23) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時、馴染みのある物を持って来ていただきできる限り自宅に近い環境となるよう、ご家族に協力していただいている。暮らしやすいように入居者、ご家族と相談し部屋配置を考えている | 居室は自分の住まいと思えるような環境づくりを行っている。カーペットに座り仕事をしたい人、転倒の危険がある時は伝い歩きができるよう家具を配置している。入居時にはなじみのある物を持って来て、できる限り自宅に近い環境になり、安心して暮らせるように、利用者、家族と相談している。   |                   |
| 57 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 洗濯物を中庭で干せるように設置している。入居者が洗濯物を干したり、乾いたのを確認でき取り込めるように支援している 全面に手すりを設置しバリアフリーとなっている       |   |                   |